

2024 年度 KSEA

関西教育行政学会
会報
第 6 号

〒 606-8501
京都市左京区吉田本町
京都大学大学院教育学研究科
教育行政学研究室気付
関西教育行政学会事務局
Mail: kansaisea@gmail.com
ホームページ <http://ksea.jp/>

The Kansai Society for Educational Administration

■□■ 2024 年度第 40 回大会のご案内 ■□■

【日時】 2024 年 12 月 1 日（日）午前 10 時から午後 5 時 50 分

【場所】 ハイブリッド開催（京都大学吉田キャンパス文学部校舎・Zoom）
※総会是对面会場のみ

【大会参加要領】

1. 事前申し込み

11 月 24 日（日）までに、以下の URL からご出欠を回答してください。

当日参加も可能ですが、会場設営の都合上、できる限りご回答をお願いします。

2. 受付

対面：9 時 30 分から、文学部校舎 2 階第 7 演習室にて行います。

オンライン：受付は行いません。各時間とも 10 分前より入室開始を予定しております。

※大会参加費は無料です。

※大会会場での学会費の支払いは受け付けておりません。

3. 大会プログラム

大会プログラムは会場にて配布いたします。また、11 月 28 日（木）以降に以下の URL
にて公開いたします。アクセスの上、ダウンロードしてください。

※報告資料については、当日の発表時間までに上記リンクから公開いたします。

4. 昼食について

当日、学内の食堂は休業しております。

会場周辺の飲食店をご利用いただくか、各自お弁当をご持参ください。

【会場案内】

「京都大学吉田キャンパス 文学部校舎」

〒606-8501 京都市左京区吉田本町

京都大学吉田キャンパスへのアクセス

【路線案内】

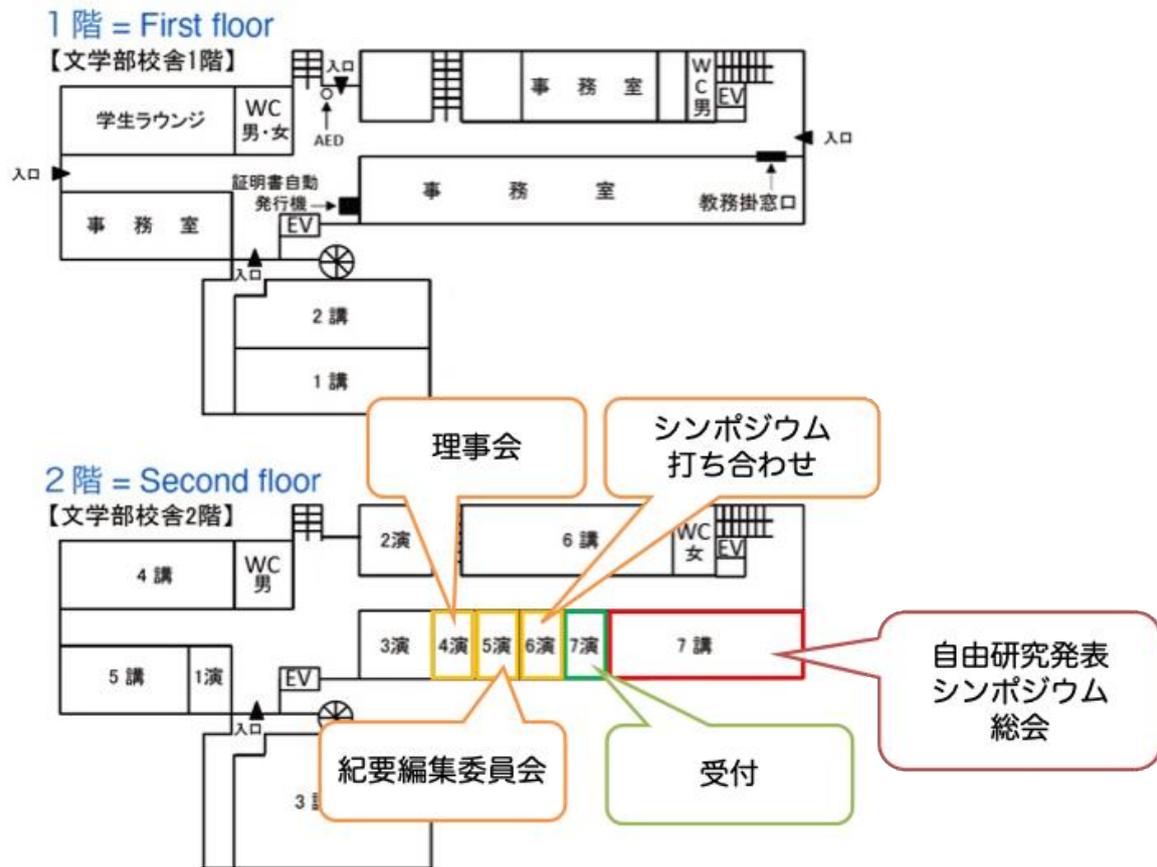
主要鉄道	利用交通	乗車バス停	市バス	市バス経路	所要時	下車バス停
JR/近鉄 京都駅から	市バス	京都駅前	□ 206系統	「祇園・北大路バスターミナル」行	約35分	京大正門前 または百万遍
			□ 17系統	「四条河原町・銀閣寺」行	約35分	百万遍
阪急 河原町駅から	市バス	四条河原町	□ 201系統	「祇園・百万遍」行	約25分	京大正門前 または百万遍
			□ 31系統	「高野・国際会館駅・岩倉」行	約25分	京大正門前 または百万遍
			□ 17系統	「出町柳駅 百万遍 銀閣寺」行	約25分	百万遍
			□ 3系統	「北白川仕伏町（上終町・京都造形芸大）」行	約25分	百万遍
地下鉄 烏丸線 烏丸今出川駅から	市バス	烏丸今出川	□ 203系統	「銀閣寺・錦林車庫」行	約15分	百万遍
			□ 201系統	「百万遍・祇園」行	約15分	百万遍 または京大正門前
地下鉄 東西線 東山駅から	市バス	東山三条	□ 206系統	「高野・北大路バスターミナル」行	約20分	京大正門前 または百万遍
			□ 201系統	「百万遍・千本今出川」行	約20分	京大正門前 または百万遍
			□ 31系統	「高野・国際会館駅・岩倉」行	約20分	京大正門前 または百万遍
京阪 出町柳	徒歩	(東へ)			約20分	
	市バス	出町柳駅前	□ 201系統	「百万遍・祇園」行	約10分	百万遍 または京大正門前
			□ 17系統	「銀閣寺・錦林車庫」行	約10分	百万遍

※上記路線図は京都大学 HP (http://www.kyoto-u.ac.jp/ja/access/campus/yoshida/map6r_y/) より引用いたしました。

京都大学吉田キャンパス文学部校舎の周辺地図



京都大学吉田キャンパス文学部校舎の館内図



※画像は京都大学文学研究科京都大学・ハイデルベルク大学国際連携文化越境専攻ウェブサイト (https://www.cats.bun.kyoto-u.ac.jp/jdts/downloads/jdts_gsl_rooms.pdf) より引用・加筆しました。

忘年会のご案内

【日時】2024年12月1日（日） 午後6時30分より

【会費】5,000円程度（忘年会会場にてお支払いください）

※参加人数により多少変動する可能性があります

【会場】百万遍 しゃらく（〒606-8225 京都市左京区田中門前町 59）



（上図は、Google マップ (<https://www.google.com/maps>) より引用しました。）

【大会日程】

開始時刻	内 容	会 場
9時30分～10時00分【受付（対面のみ）】		文学部校舎2階 第7演習室
10時00分～【自由研究発表】		【対面】 文学部校舎2階 第7講義室
	「地方公共団体が地域の高等教育機関へ及ぼす影響に関する予備的研究 —公立大学の法人化にともなう各種規則の扱いに注目して—」	【オンライン】
	柴 恭史 会員（桃山学院教育大学）	
	「校長の退職後のキャリアに関する探索的研究 —X県Y教育事務所管内の小・中学校を事例として—」	
	松村 千鶴 会員（京都府立大学） 榊原 禎宏 会員（京都教育大学） 浅田 昇平 会員（四天王寺大学）	ミーティング ID:
12時00分～【昼食】	会場周辺の飲食店をご利用いただくか、弁当をご持参下さい。	
12時00分～12時30分	〈紀要編集委員会〉	文学部校舎2階 第5演習室
12時40分～13時40分	〈シンポジウム打ち合わせ〉	文学部校舎2階 第6演習室
12時45分～13時35分	〈理事会〉	文学部校舎2階 第4演習室
14時00分～【大会シンポジウム】		【対面】 文学部校舎2階 第7講義室
	「大学における教員養成教育の変化と課題」	【オンライン】
	※登壇者については調整中のため、確定次第再度ご案内いたします。	
		ミーティング ID:
17時00分～【2024年度総会】		【対面】 文学部校舎2階 第7講義室 (対面のみ開催)
18時30分～【忘年会】〈会費〉5,000円程度（予定）		百万遍 しゃらく

【大会シンポジウム趣旨】

大学における教員養成教育の変化と課題

コロナ期の GIGA スクール構想推進も介在して、「個別最適な学び」「共同的な学び」をスローガンとした児童生徒の学びの変革が進展するなかで、これを支える次世代の教員の供給は、困難な状況（教員採用試験の倍率低下・教職離れ等）に直面している。

ところで、教員の供給に直接かかわる教員養成についても、上述の学びの改革と軌を一にした改革が企図されてきた。過去 10 年に限っても、2015 年・2022 年と重畳的に発出された中央教育審議会答申に基づき、教員育成指標と教委連携、教職課程の内容等の改正や教職課程コアカリキュラム、教員養成フラッグシップ大学の指定といった施策が立案・実施に移されている。これらにおいては、新たな社会を見据えた多様な強みを持つ人材の確保やその拠点形成／学問成果の活用といった価値が示されるとともに、教職課程の弾力化の一方での教職課程コアカリキュラム策定、資質能力育成を意識した地元教育委員会や民間事業者との連携・ネットワーク強化など、大学における教員養成の原理や教員の専門性の在り方と関わっての論点も潜在している。以上の教員養成の改革には掘り下げた議論も必要であるが、現在の教員養成系学部、教職課程は国・公・私それぞれの文脈においてこれに向き合っていくことが急務の課題であり、未来志向の意図から、新たな養成教育を創出する実践動向も見られる。

本学会は、2016 年度の年次大会シンポジウム等でも、教員養成・研修の一体改革について検討している。今回のシンポジウムでは、特に教員養成の改革に着目し、現在までの改革経緯と潜在する課題・論点の解題を起点に、教員養成フラッグシップ大学等の新たな取組を含めた大学の教員養成教育の現状・到達点・課題、教員供給の受け手となる教育委員会（教育センター）における教員養成への期待や連携等の動向について紹介いただく。これらをもとに、大学における教員養成教育の現代的変化、その可能性と課題について、検討を深めることを試みたい。

大会担当理事 大野 裕己

【パネリスト報告題目（仮）】登壇者調整中

1. 教員養成制度改革の文脈と課題
2. 大学における教員養成教育の取組の現状（教員養成系学部／教職課程）
3. 教育委員会（教育センター）における教員養成教育への期待・連携



紀要編集委員会からのお知らせ



【編集委員会の構成】

編集委員長 大野 裕己 (兵庫教育大学)
編集副委員長 川上 泰彦 (兵庫教育大学)
編集委員 尾崎 公子 (兵庫県立大学)
同 柴 恭史 (桃山学院教育大学)
同 南部 初世 (名古屋大学)
編集幹事 松本 圭将 (びわこ成蹊スポーツ大学)
編集委員会事務局 連絡先
住所 〒606-8501 京都市左京区吉田本町 京都大学大学院教育学研究科内
教育行政学研究室気付
メールアドレス kseakiyou@gmail.com

【『教育行財政研究』論文投稿要領】

- 『教育行財政研究』論文には、「自由研究論文」と「研究ノート」が含まれる。
- 「自由研究論文」は、本学会の当該年度および前年度の例会（1月～12月）において口頭発表したものとする。
- 「研究ノート」は、「自由研究論文」に馴染まない「外国の教育事情の紹介」「文献紹介」「実践報告」「時事評論」等を内容とする。
- 論文は未発表のものに限る。ただし、口頭発表及びその配布資料はこの限りでない。
- 編集委員会が特に指定する場合を除き、「自由研究論文」は、本紀要 10 頁（46 字×37 行）以内、「研究ノート」は 5 頁（46 字×37 行）以内とする。ただし論文タイトル及び氏名・所属に 7 行とり、本文は 8 行目からはじめる。この枚数には、図・表・註・引用文献・参考文献等を含むものとする。著者は、引用文献・参考文献リストを本文・注と別に作成・提出すること。但し、提出は採録決定後でも可とする。引用文献・参考文献リストの書式は、原則として科学技術振興機構の SIST02 (http://jipsti.jst.go.jp/sist/pdf/SIST_booklet2011.pdf) に従うものとする。
- 論文原稿には、(1) 英語による論文題目、執筆者名及びその所属、(2) 英文アブストラクト（45 字×18 行）を添付する。
- 原稿は PDF ファイルの形式で、電子メールの添付書類として提出する。原稿は、A 4 版用紙に横書きで 46 字×37 行とし、ワープロソフト(Word、一太郎等)により作成する。審査の上、掲載可と判断された場合、改めて原稿の電子データを電子メールの添付書類として提出する。その際の形式はワープロソフトのままの形式とし、PDF ファイルは認めない。
- 論文の投稿については、紀要編集委員会に対して毎年 11 月 30 日 17 時までに投稿の意思表示（所定の申し込み用紙による）をし、1 月 10 日 17 時までに原稿を提出するものとする。
- 本誌に掲載された論文等の著作権については、本学会に帰属する。また、著作者自身が、自己の著作物を利用する場合には、本学会の許諾を必要としない。採択された論文等はオンラインで公開される。

【紀要第 52 号への投稿申込について】

『教育行財政研究』第 52 号（2025 年 3 月発行予定）への「自由研究論文」及び「研究ノート」への投稿申し込みを受け付けます。「自由研究論文」への投稿資格は、2023 年 1 月例会から 2024 年 12 月大会において発表した会員です。なお、「研究ノート」は、その性質上、例会・大会でいまだ発表していない場合でも投稿可能です。

投稿資格を有し、かつ投稿を希望する会員は、所定の申し込み用紙に必要事項を記入の上、姓名「投稿申込」として 11 月 30 日（土）17 時までに編集委員会の専用メールアドレス（kseakiyou@gmail.com）までメール添付でお送りください。所定の申し込み用紙は、学会 HP (<http://kseajp>) からダウンロード可能です。なお、原稿の投稿締め切りは 2024 年 1 月 10 日

(金) 17 時です。ご不明な点などございましたら、事務局までお問い合わせください。

【紀要審査手続きについて】

編集委員長は、理事会の同意を経て会長が委嘱し、編集委員長は、専門分野や経歴等勘案して編集委員若干名を推薦し、理事会の同意を経て委員を委嘱します。

このようにして構成された編集委員会が、期限までに提出された規定分量内の「自由研究論文」及び「研究ノート」の審査を行います。編集委員会では投稿された「自由研究論文」及び「研究ノート」を一つひとつ丁寧に読み、慎重かつ厳正に審査し、合議によって掲載の可否を決定します。

なお、既にご案内の通り、多様化する研究テーマに対応するため、「自由研究論文」及び「研究ノート」1 本ごとに委員以外の会員 1 名が査読に加わる場合があります。上記の審査は委員以外の査読者の査読意見も含めて行われます。

□■□ 事務局より □■□

【理事会報告】

2024 年度第 4 回理事会が、9 月 14 日（土）にオンラインにて開催されました。

〈報告事項〉

- 会員異動について
異動、退会について承認を行いました。
- 例会予定について
今後の例会予定についての確認を行いました。

〈審議事項〉

- 選挙について
選挙日程及び会費納入状況が事務局より報告されました。
- 年次大会について
大会の日時及び当日のスケジュールが確認され、承認されました。
シンポジウムのテーマ案について大野理事より報告があり、承認されました。
- 研究助成事業について
当初の期日までに応募がなく、再募集を行っていましたが応募がありませんでしたため、今年度の研究助成は実施しないこととなりました。
- 例会規則について
前回理事会での議論を踏まえ、浅田理事より例会規則案が提示され、審議の結果承認されました。
これまでの例会の方法を明文化したほか、例会発表の活性化策として提案されていた指定討論方式について明記し、従来の司会方式と選択可能としました。
前期理事会にて決定した例会の謝金制度については、実施しないこととしました。
- 紀要電子化の外部委託について
紀要電子化の外部委託について、見積もり結果を踏まえて業者を選定したことが事務局より報告され、承認されました。

【会員異動】

〈異動〉

長谷川 直樹（延辺大学）

〈退会〉

武井 哲郎

【例会報告のお願い】

例会報告をご希望の方は、例会担当の浅田理事もしくは事務局までご連絡をお願いします。

【寄贈図書】

下記の図書が寄贈されました。閲覧を希望される方は事務局までご連絡ください。

- 大脇康弘編著・スクールリーダー研究会＋『教育実践の物語を紡ぐ—実践研究 教師のライフコース—』一莖書房、2024年。
- 関西教育学会『関西教育学会研究紀要』第24号、2024年。
- 高田一宏『新自由主義と教育改革—大阪から問う—』岩波新書、2024年。
- 筑波大学学校経営学研究会編『学校経営学論集』第8号、2024年。

【会費納入のお願い】

2024年度学会費を未納の方は、早急に納入をお願いいたします。一般会員は7,000円、学生会員は3,500円です。名誉会員については会費の納入は不要です。

会費の納入状況につきましては、遠慮なく事務局までお問い合わせください。

郵便振替口座番号： 01000-8-34227 加入者名： 関西教育行政学会

他の金融機関から当学会郵便振替口座へお振込みをしていただく際は、以下の振込用の店名・預金種目・口座番号・受取人名をご指定ください。

銀行名	ゆうちょ銀行
金融機関コード	9900
店番	109
店名（カナ）	一〇九店（イチゼロキュウ店）
預金種目	当座
口座番号	0034227
カナ氏名 （受取人名）	カンサイキョウイクギョウセイガツカイ （全て大文字）

【事務局からのお願い】

所属、住所、メールアドレス等が変更になりましたら、お手数ですが事務局までご一報ください。

【事務局の連絡先】

住所：〒606-8501

京都市左京区吉田本町

京都大学大学院教育学研究科

教育行政学研究室気付

Mail : kansaisea@gmail.com